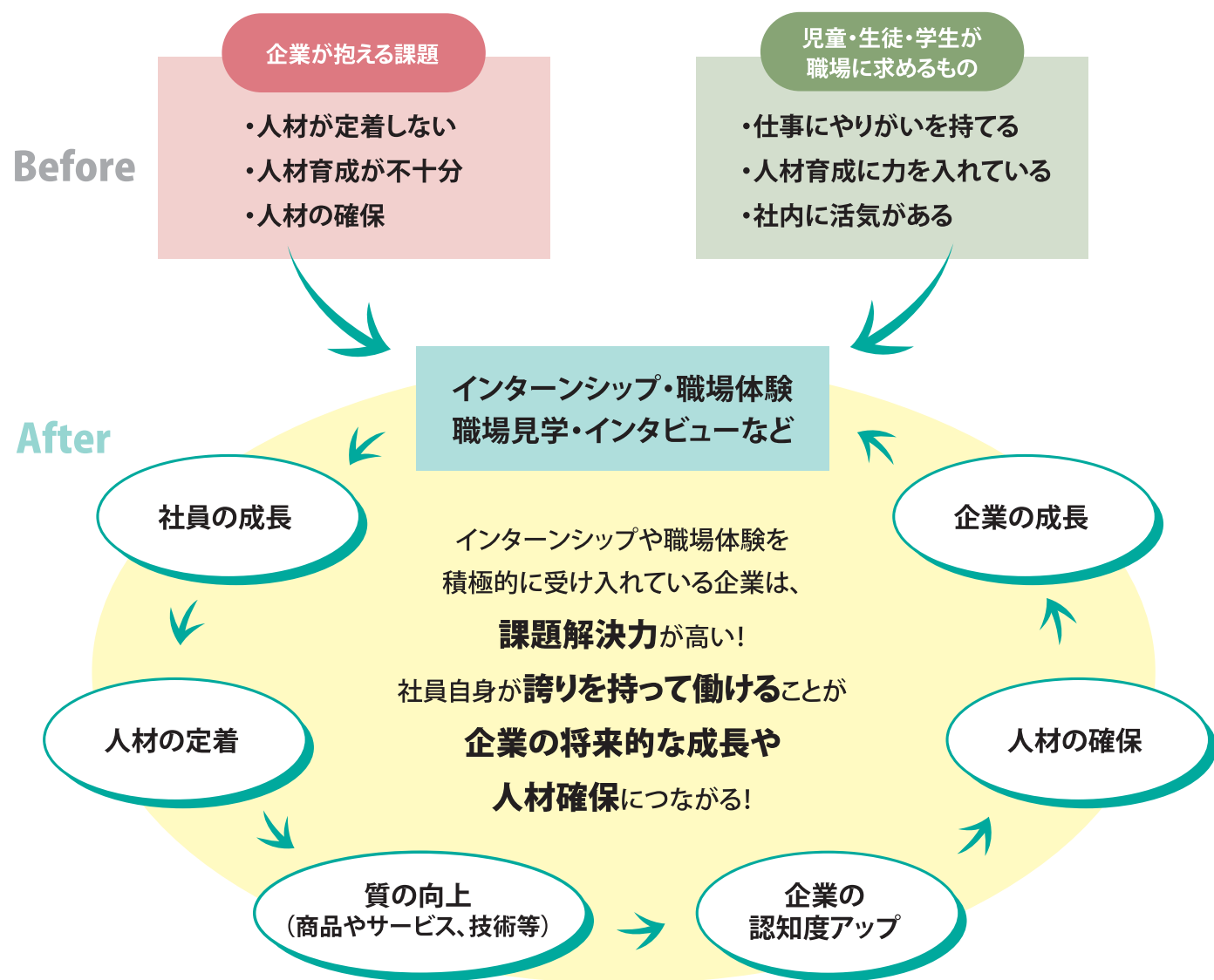


人材が定着するには、どうすればいい？ 成長している企業は何が違う？

子どもや若者たちとの向き合い方で 社員の成長が大きく変わります

企業はインターンシップや職場体験、職場見学などの受け入れによって、
業界や企業の広報になるだけでなく、
何より社員自身が自分の仕事や想いを伝えることで、
やりがいを持って働く大きなきっかけになります。
子どもや若者の発想や気づきが、社内の活性化にもつながるでしょう。
若者や子どもたちのまなざしにどう向き合い、どう関わっていくか。
彼らと真剣に向き合っていくことで、仕事や企業への誇りを持ち始め
社員の人材育成にもつながるのです。



インターンシップや職場体験で
何をすればいい？

「子どもの発達段階に合わせた関わり方で 磨かれる社員の力も異なります」

様々な生活体験・社会体験を通じて、子どもたちは段階的に成長します。社員も、インターンシップ等の受け入れの中で、職業や生き方を語り、子どもたちの興味関心の広がりや支援することにより、リーダーシップやコミュニケーション能力などの力が磨かれるでしょう。単に任せるだけでなく、企業として社員に求める力や成長を考えながら、フォローやアドバイスをする必要があります。担当者となった社員は以下のポイントを意識することで、効果的なプログラムにすることができます。

子どもの発達と段階ごとのポイント

※各発達段階だけのポイントではなく、受け入れる児童・生徒・学生の状況に応じて、他の発達段階のプログラム内容や関わり方を複合させていくことも重要です。

